イスラームの英雄

第 7 巻

ザイド・ブン・ハーリサ

アッラーの使徒 ﷺ に愛された人、ムウタの最初の司令官 — クルアーンと真正なハディースに基づいて



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 7 巻

ザイド・ブン・ハーリサ

アッラーの使徒 ﷺ に愛された人、ムウタの最初の司令官 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

مَّا كَانَ مُحَمَّدٌ أَبَآ أَحَدٍ مِّن رِّجَالِكُمْ وَلَٰكِن رَّسُولَ ٱللَّهِ وَخَاتَمَ ٱلنَّبِيِّـۧنَ ۗ وَكَانَ ٱللَّهُ بِكُلِّ شَىْءٍ عَلِيمًا ﴿٤٠﴾

「ムハンマドは，あなたがた男たちの誰の父親でもない。しかし，アッラーの使徒であり，また預言者たちの封緘である。本当にアッラーは全知であられる。」

部族連合章 33:40

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

しもべたちを家柄ではなく、信仰と敬虔さによって高められるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけアッラーの使徒 ﷺ に愛され、クルアーンにその名が記された唯一の教友であるザイド・ブン・ハーリサ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 7 巻は、ザイド・ブン・ハーリサ رضى الله عنه の生涯を語ります。さらわれて奴隷として売られ、実の父よりもアッラーの使徒 ﷺ を選び、最初期の入信者の一人となり、多くの遠征隊を率い、ムウタで殉教した最初の旗手です。

この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、夕暮れのヨルダン南部の***ムウタの高原***です。乾いた草の広い平原、オリーブの木々、そして地平線の山々が見えます。ここでザイド・ブン・ハーリサは、ヒジュラ暦8年、ムスリム軍の最初の司令官として殉教しました（『サヒーフ・ブハーリー』4261）。

大きな岩の上には***白い旗***が立ち、アッラーの使徒 ﷺ の言葉を思い起こさせます。「ザイドが旗を取り、そして倒れた」（『サヒーフ・ブハーリー』4262）。そのそばには***古い槍***が立てかけられ、多くの遠征隊を率いたザイドの戦いを表しています。

地平線に沈む夕日は、奴隷として始まりながら、アッラーがその名をクルアーンに記されるまでに高められた英雄の生涯の終わりを思い起こさせます（部族連合章33:37）。

下部の***紺色の帯***は、***細い金色の線***に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第1巻から第6巻までの表紙と同じ形にしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

ザイド・ブン・ハーリサ — *はじめに*

1. ザイドとは誰か — *スィーラと伝記の書*

2. さらわれ、奴隷として売られる — *イブン・サアド；イブン・ヒシャーム*

3. ハディージャからアッラーの使徒ﷺへの贈り物 — *スィーラの書*

4. 父よりもアッラーの使徒ﷺを選ぶ — *『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815；イブン・サアド*

5.「ザイド・ブン・ムハンマド」 — *『サヒーフ・ブハーリー』4782；部族連合章 33:5*

6. 最初期の入信者の一人 — *スィーラの書*

7. アッラーの使徒ﷺとともにターイフへ — *イブン・サアド；スィーラの書*

8. ヒジュラと兄弟の契り — *スィーラの書*

9. バドルの勝利の知らせを運ぶ — *イブン・イスハーク；イブン・ヒシャーム*

10. 遠征隊の司令官 — *マガーズィーの書；『ムスナド・アフマド』*

11. ザイナブ・ビント・ジャフシュとの結婚 — *『サヒーフ・ブハーリー』7420*

12. クルアーンに名前が記された唯一の教友 — *部族連合章 33:37*

13.「ムハンマドは、あなたがた男たちの誰の父親でもない」 — *部族連合章 33:40*

14. ウンム・アイマンとウサーマ — *『サヒーフ・ブハーリー』3730*

15. ムウタ：三人の司令官 — *『サヒーフ・ブハーリー』4261*

16. 倒れた最初の旗手 — *『サヒーフ・ブハーリー』4262；イムラーン家章 3:169*

17. ザイドの人柄 — *まとめ*

18. ザイドの物語の出典 — *表*

19. ザイドの物語の人物 — *表*

20. ザイドの物語の場所 — *表*

21. ザイドの生涯の年表 — *表*

22. ザイドについてよくある質問 — *12 の質問*

23. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

ザイド・ブン・ハーリサ

クルアーン全体の中で、アッラーの使徒 ﷺ の教友のうちはっきりと名前を挙げられているのはただ一人です。アッラーはこう言われます。 *「□□□□□□ □□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□」* ― *「ザイドが彼女との関係を終えたとき……」*（部族連合章 33:37）。その教友こそ *ザイド・ブン・ハーリサ رضى الله عنه* です。

ザイドは幼いころにさらわれ、奴隷として売られ、やがてアッラーの使徒 ﷺ に贈られました。父が身代金を持って迎えに来たとき、ザイドはアッラーの使徒 ﷺ のもとにとどまることを選びました。彼は最初期の入信者の一人となり、*ヒッブ・ラスーリッラー*（アッラーの使徒 ﷺ に愛された人）と呼ばれ、多くの遠征隊を率い、*ムウタ*で最初の司令官として殉教しました。

この電子書籍は *『イスラームの英雄』* シリーズの第 7 巻です。これまでの巻と同じく、ザイド رضى الله عنه の物語を、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

ザイドの物語は、信仰によって高められた一人の奴隷の物語です。アッラーは審判の日まで読まれるご自身の書に彼の名を記されましたが、クライシュ族の多くの有力者は歴史の中に忘れられていきました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

ザイドとは誰か

彼の正式な名は*ザイド・ブン・ハーリサ・ブン・シュラフビール*で、アラビア半島北部の*カルブ族*（クダーア族）の人です。母はタイイ族の支族マアン家の*スウダー・ビント・サアラバ*です。クンヤ（呼び名）は、息子ウサーマ・ブン・ザイドにちなんで*アブー・ウサーマ*でした。

イブン・サアドによれば、彼は55歳ごろに殉教しており、アッラーの使徒ﷺより数歳年下でした。伝記の書は、彼を背が低く、やや浅黒い肌で、鼻の低い人として描いています。

名前と呼び名

名前・呼び名	説明
ザイド・ブン・ハーリサ	本名
アブー・ウサーマ	息子ウサーマにちなむクンヤ
アル＝カルビー	カルブ族の人
ザイド・ブン・ムハンマド	部族連合章33:5の啓示以前の呼び名（『サヒーフ・ブハーリー』4782）
ヒッブ・ラスーリッラー ﷺ	「アッラーの使徒ﷺに愛された人」、歴史書での呼び名

教訓

ザイドはクライシュ族ではなく、奴隷でさえありました。それでもイスラームは彼を多くの貴族よりも高めました。アッラーのもとでの人の誉れは、家柄ではなく敬虔さによるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

さらわれ、奴隷として売られる

ザイドが8歳ほどの幼い子どもだったころ、母は彼を連れてマアン家の実家を訪ねました。そこへカイン族の略奪者たちが集落を襲い、ザイドをさらっていきました。

歴史の注：ウカーズの市

ザイドはマッカ近くの*ウカーズの市*に連れて行かれ、奴隷として売られたと伝えられています。*ハキーム・ブン・ヒザーム*が、おばの*ハディージャ・ビント・フワイリド* رضى الله عنها のために400ディルハムで彼を買いました。

*伝承の評価：*伝記の書に伝えられていますが、細部は伝承によって異なります。

参照：

イブン・サアド『大列伝』（ザイド・ブン・ハーリサの伝記）；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓

さらわれて売られるという大きな災いに見えた試練が、ザイドをアッラーの使徒 ﷺ の家へと導く道となりました。すべての定めの背後にある英知は、アッラーがご存じです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディージャからアッラーの使徒ﷺへの贈り物

ハディージャはムハンマド ﷺ と結婚すると、ザイドを夫に贈りました。そのころムハンマド ﷺ はまだ使徒とされていませんでした。ザイドは彼の家で育ち、その気高い人柄を身近に感じながら暮らしました。

ザイドは最初の啓示よりもずっと前から、彼の誠実さ、信頼の厚さ、やさしさ、気前のよさを自分の目で見ていました。だからこそ、彼が使徒とされたとき、ザイドは迷わず信じたのです。

教訓

良い人柄こそ最も力ある呼びかけです。ザイドが信じたのは、アッラーの使徒 ﷺ の誠実さと気高さを長い間見てきたからでした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

父よりもアッラーの使徒ﷺを選ぶ

ザイドの父*ハーリサ・ブン・シュラフビール*は、息子を失ったことを深く悲しみました。あちこちを捜し回り、悲しみを詩に詠みました。ついにザイドがマッカにいると知り、兄弟のカアブとともに身代金を持ってやって来ました。

歴史の注：ザイドの選択

アッラーの使徒 ﷺ はザイドを呼び、父とともに帰るか、自分のもとにとどまるかを選ばせたと伝えられています。ザイドは言いました。「私はあなたより誰かを選ぶことはありません。あなたは私にとって父であり、おじです。」父は言いました。「なんということだ、ザイドよ！自由よりも、父やおじや家族よりも、奴隷の身を選ぶのか。」ザイドは答えました。「はい。私はこの方の中にあるものを見ました。この方より誰かを選ぶことは決してありません。」

そこでアッラーの使徒 ﷺ はザイドをカアバのヒジュルへ連れて行き、「証人となれ。ザイドは私の息子である。私は彼から相続し、彼は私から相続する」と宣言されました。父とおじはそれを見て心が安らぎ、帰っていきました。

伝承の評価： この話の全体は、伝承経路に議論のある形で伝記の書に伝えられています。その内容は、ザイドの兄弟*ジャバラ・ブン・ハーリサ*のハディースによって裏付けられています。ジャバラがアッラーの使徒 ﷺ にザイドを連れて帰らせてほしいと頼むと、使徒は「ここにいる。もしあなたと行くなら、私は止めない」と言われ、ザイドは「アッラーの使徒よ、アッラーにかけて、私はあなたより誰かを選ぶことはありません」と言いました（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815、ダールッサラームによれば「ハサン（良好）」）。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

教訓

ザイドは自由や家族よりも、愛と真理を選びました。アッラーの使徒 ﷺ も彼に無理強いせず、完全に選ばせました。真心からの愛は、お金では買えない忠誠を生むのです。

「ザイド・ブン・ムハンマド」

その日から人々は彼を*ザイド・ブン・ムハンマド*と呼びました。ジャーヒリーヤ（無明時代）には、養子は養父の名で呼ばれたからです。それはアッラーが新しい定めを下されるまで続きました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4782 番

حَدَّثَنَا مُعَلَّى بْنُ أَسَدٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ الْمُخْتَارِ، حَدَّثَنَا مُوسَى بْنُ عُقْبَةَ، قَالَ حَدَّثَنِي سَالِمٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ زَيْدَ بْنَ حَارِثَةَ، مَوْلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مَا كُنَّا نَدْعُوهُ إِلاَّ زَيْدَ ابْنَ مُحَمَّدٍ حَتَّى نَزَلَ الْقُرْآنُ {ادْعُوهُمْ لآبَائِهِمْ هُوَ أَقْسَطُ عِنْدَ اللَّهِ}.

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルは言いました。*「アッラーの使徒 ﷺ の解放奴隷ザイド・ブン・ハーリサを、私たちはザイド・ブン・ムハンマドとしか呼んでいなかった。やがてクルアーンが下された。『かれら（養子）の父（の名）をもってかれらを呼べ。それがアッラーの御目に最も正しいのである』と。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムアッラー・ブン・アサド ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アル＝ムフタール ← ムーサー・ブン・ウクバ ← サーリム・ブン・アブドゥッラー ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』クルアーン解釈の書、部族連合章、「かれらの父をもって呼べ」の章、ハディース第 4782 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4782

部族連合章 33:5

ٱدۡعُوهُمۡ لِأٓبَآئِهِمۡ هُوَ أَقۡسَطُ عِندَ ٱللَّهِۚ فَإِن لَّمۡ تَعۡلَمُوٓاْ ءَابَآءَهُمۡ فَإِخۡوَٰنُكُمۡ فِي ٱلدِّينِ وَمَوَٰلِيكُمۡۚ وَلَيۡسَ عَلَيۡكُمۡ جُنَاحٞ فِيمَآ أَخۡطَأۡتُم بِهِۦ وَلَٰكِن مَّا تَعَمَّدَتۡ قُلُوبُكُمۡۚ وَكَانَ ٱللَّهُ غَفُورٗا رَّحِيمٗا ٥

かれら（養子）の父（の姓）をもってかれらを呼べ。それがアッラーの御目に最も正しいのである。もしかれらの父（の姓）を知らないなら，信仰におけるあなたがたの兄弟，友ということにするがよい。あなたがたがそれに就いて誤ることがあっても，罪ではない。だがあなたがたの心に悪い意図のある場合は別である。アッラーは寛容にして慈悲深き御方であられる。

訳：三田了一 — quran.com/33:5

教訓

イスラームは養子を大切にし、信仰における兄弟として扱うよう命じますが、家系は本当の血筋に従って守られなければなりません。名前が父ハーリサに戻っても、ザイドはアッラーの使徒 ﷺ に愛され続けました。

最初期の入信者の一人

アッラーの使徒 ﷺ に最初の啓示が下ったとき、彼に最も近い人々が最初に信じました。妻の*ハディージャ*、家でともに暮らしていたいとこの*アリー・ブン・アビー・ターリブ*、*ザイド・ブン・ハーリサ*、そして友の*アブー・バクル・アッ＝スィッディーク*です。

歴史の注：最初は誰か

イブン・イスハークは、最初に信じたのはハディージャ、次にアリー・ブン・アビー・ターリブ、次にザイド・ブン・ハーリサであったと述べています。ズフリーなど一部の学者は、ザイドが最初に入信した男性であったとしています。学者たちはこれらの説をこうまとめています。女性ではハディージャ、自由な成人男性ではアブー・バクル、子どもではアリー、解放奴隷ではザイドである、と。

伝承の評価： これらはスィーラの学者たちの見解であり、いずれもザイドが最初期の入信者であったことでは一致しています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

家の中でアッラーの使徒 ﷺ を知っていた最も近い人々が、最も早く彼を信じました。これは、彼が私生活においても誠実であったことの証です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺとともにターイフへ

預言者となって 10 年目、アブー・ターリブとハディージャが亡くなった後、アッラーの使徒 ﷺ はサキーフ族をイスラームに招くため***ターイフ***へ向かわれました。この旅に同行したのがザイド・ブン・ハーリサでした。

歴史の注：ターイフでアッラーの使徒ﷺを守る

ターイフの人々は呼びかけを拒み、愚かな者や奴隷たちをけしかけて石を投げさせたと伝えられています。ザイドは自分の体で使徒をかばい、頭に傷を負いました。

伝承の評価： ザイドがターイフへの旅に同行したことはスィーラの書でよく知られていますが、頭の傷の話は強い伝承経路なしに伝えられています。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

本当の友は、最もつらいときにこそそばにいます。ザイドは、アッラーの使徒 ﷺ が勝利し讃えられたときだけでなく、拒まれ傷つけられたときにも寄り添いました。

ヒジュラと兄弟の契り

ザイドはムスリムたちとともにマディーナへ移住しました。アッラーの使徒 ﷺ が到着された後、使徒はザイドとアブー・ラーフィウをマッカへ送り、サウダや娘たちを含むご家族と、ザイド自身の妻ウンム・アイマン、息子ウサーマを連れて来させました。

スィーラの書によれば、アッラーの使徒 ﷺ はザイドをおじの*ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ*と兄弟の契りで結ばれました（マディーナではウサイド・ブン・フダイルと結ばれたとする伝承もあります）。二人の絆は深く、ハムザはウフドへ出発する際、遺言をザイドに託したほどでした。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、解放奴隷を、クライシュ族の勇ましい指導者である自分のおじと兄弟にされました。イスラームでは、信仰の絆が身分や家柄の壁を打ち壊すのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

バドルの勝利の知らせを運ぶ

ザイドはヒジュラ暦2年のバドルの戦いに加わりました。勝利の後、アッラーの使徒 ﷺ は二人の吉報の使者をマディーナに送られました。マディーナの高地には*アブドゥッラー・ブン・ラワーハ*を、低地には使徒のラクダ、アル＝カスワーに乗せた*ザイド・ブン・ハーリサ*を送られたのです。

歴史の注：信じられなかった知らせ

ザイドが着くと、偽信者たちや一部のユダヤ教徒は、ザイドが使徒のラクダに乗っているのを見て、ムスリムが敗れアッラーの使徒 ﷺ が殺されたというううわさを広めたと伝えられています。ウサーマ・ブン・ザイドは言いました。「捕虜を見るまで、私たちは信じられなかった。」知らせが届いたのは、ムスリムたちがアッラーの使徒 ﷺ の娘ルカイヤを葬り終えたばかりのときでした。

伝承の評価： スィーラとマガーズィーの書に伝えられています。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；ワーキディー『マガーズィー』。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、大切な知らせを最も信頼する人に託されました。一部の人々がゆがめようとしても、ザイドは勝利の知らせを誠実に届けました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

遠征隊の司令官

ザイドはただの兵士ではありませんでした。アッラーの使徒 ﷺ は彼を多くの遠征隊（サリーヤ）の司令官に任じられました。その中には、クライシュ族の隊商を阻むための*アル＝カラダ*（ヒジュラ暦3年）、*アル＝ジャムーム*、*アル＝イース*、*ヒスマー*、*ワーディー・アル＝クラー*への遠征があります。また、アッラーの使徒 ﷺ は遠征中、彼をマディーナの留守役に任じられたこともありました。

ハディースの注：「必ず彼を司令官にされた」

アーイシャはこう言ったと伝えられています。「アッラーの使徒 ﷺ は、ザイド・ブン・ハーリサを軍とともに送るとき、必ず彼をその司令官にされた。もし彼が使徒の後まで生きていたなら、使徒は彼を後継者にされただろう。」

伝承の評価： 一部の学者はその伝承経路を「ハサン」としています。最後の部分はアーイシャ自身の見解です。

参照：

アフマド『ムスナド』；イブン・アビー・シャイバ『ムサンナフ』；ナサーイー『スナン・アル＝クブラー』。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、指導者としてふさわしいかどうかを、出自ではなく信仰と信頼性と能力で判断されました。解放奴隷が、クライシュ族の尊敬される教友たちを含む遠征隊を率いたのです。

ザイナブ・ビント・ジャフシュとの結婚

アッラーの使徒 ﷺ は、ザイドを自分のいとこでクライシュ族の名家の女性 ***ザイナブ・ビント・ジャフシュ*** と結婚させました。この結婚は、名家の女性が解放奴隷と結婚することを許さないジャーヒリーヤの慣習を打ち破るものでした。しかし二人の家庭は幸せではなく、ザイドはアッラーの使徒 ﷺ のもとに相談に来ました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 7420 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ أَبِي بَكْرٍ الْمُقَدَّمِيُّ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنْ ثَابِتٍ، عَنْ أَنَسٍ، قَالَ جَاءَ زَيْدُ بْنُ حَارِثَةَ يَشْكُو فَجَعَلَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " اتَّقِ اللَّهَ، وَأَمْسِكْ عَلَيْكَ زَوْجَكَ ". قَالَتْ عَائِشَةُ لَوْ كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم كَاتِمًا شَيْئًا لَكَتَمَ هَذِهِ. قَالَ فَكَانَتْ زَيْنَبُ تَفْخَرُ عَلَى أَزْوَاجِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم تَقُولُ زَوَّجَكُنَّ أَهَالِيكُنَّ، وَزَوَّجَنِي اللَّهُ تَعَالَى مِنْ فَوْقِ سَبْعِ سَمَوَاتٍ. وَعَنْ ثَابِتٍ {وَتُخْفِي فِي نَفْسِكَ مَا اللَّهُ مُبْدِيهِ وَتَخْشَى النَّاسَ} نَزَلَتْ فِي شَأْنِ زَيْنَبَ وَزَيْدِ بْنِ حَارِثَةَ.

訳：

アナスは言いました。***ザイド・ブン・ハーリサが（妻のことを）訴えに来ると、預言者 ﷺ は彼に「アッラーを畏れよ。そして妻を手放すな」と言い続けられた。*** アーイシャは言いました。「もしアッラーの使徒 ﷺ が（啓示の）何かを隠されたとすれば、きっとこれを隠されたでしょう。」アナスは言いました。ザイナブは預言者 ﷺ のほかの妻たちに誇って、「あなたたちは家族に嫁がされたが、私は至高のアッラーによって七つの天の上から嫁がされた」と言っていました。またサービトから：***「あなたはアッラーが明らかにされることを心の中に隠し、人々を恐れていた」（という節）は、ザイナブとザイド・ブン・ハーリサについて下された。***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド ← ムハンマド・ブン・アビー・バクル・アル＝ムカッダミー ← ハンマード・ブン・ザイド ← サービト・アル＝ブナーニー ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』唯一性の書、「かれの玉座は水の上にあった」の章、ハディース第 7420 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:7420

教訓

アッラーの使徒 ﷺ はザイドに、アッラーを畏れ、結婚を続けるよう助言されました。

イスラームは、別れを選ぶ前に結婚を立て直す努力を勧めます。それでも別れが訪れたなら、それもまたアッラーの定めと英知の一部なのです。

クルアーンに名前が記された唯一の教友

ザイドがザイナブと離婚した後、アッラーは、養子の元の妻との結婚を禁じるジャーヒリーヤの慣習をなくすため、アッラーの使徒 ﷺ に彼女と結婚するよう命じられました。この節の中で、ザイドの名がはっきりと記されています。

部族連合章 33:37

وَإِذْ تَقُولُ لِلَّذِىٓ أَنْعَمَ ٱللَّهُ عَلَيْهِ وَأَنْعَمْتَ عَلَيْهِ أَمْسِكْ عَلَيْكَ زَوْجَكَ وَٱتَّقِ ٱللَّهَ وَتُخْفِى فِى نَفْسِكَ مَا ٱللَّهُ مُبْدِيهِ وَتَخْشَى ٱلنَّاسَ وَٱللَّهُ أَحَقُّ أَن تَخْشَىٰهُ ۖ فَلَمَّا قَضَىٰ زَيْدٌ مِّنْهَا وَطَرًا زَوَّجْنَٰكَهَا لِكَىْ لَا يَكُونَ عَلَى ٱلْمُؤْمِنِينَ حَرَجٌ فِىٓ أَزْوَٰجِ أَدْعِيَآئِهِمْ إِذَا قَضَوْا۟ مِنْهُنَّ وَطَرًا ۚ وَكَانَ أَمْرُ ٱللَّهِ مَفْعُولًا ﴿٣٧﴾

アッラーの恩恵を授かり，またあなたが親切を尽くした者に，こう言った時を思え。「妻をあなたの許に留め，アッラーを畏れなさい。」だがあなたは，アッラーが暴露しようとされた，自分の胸の中に隠していたこと（養子の妻との結婚が人の口の端に上がること）を恐れていた。寧あなたは，アッラーを畏れるのが本当であった。それでザイドが，かの女に就いて必要なこと を済ませ（離別し）たので，われはあなたをかの女と結婚させた。（これからは）信者が，必要な離婚手続きを完了した時は，自分の養子の妻でも，（結婚にも）差し支えないことにした。アッラーの命令は完遂しなければならない。

訳：三田了一 — quran.com/33:37

学者たちは、ザイドが***クルアーンにその名がはっきりと記された、アッラーの使徒 ﷺ のただ一人の教友***であると述べています。またこの節は、ザイドを***「アッラーの恩恵を授かり」***（イスラームによって）、***「あなたが親切を尽くした」***（解放によって）人として描いています。

教訓

ザイドは「ムハンマドの息子」という呼び名を失いましたが、アッラーはそれをはるかに尊いものに替えられました。彼の名は、審判の日まで何百万もの人々が読むアッラーの言葉の中に永遠に残されたのです。

「ムハンマドは、あなたがた男たちの誰の父親でもない」

数節後、アッラーは、アッラーの使徒 ﷺ がザイドを含め彼らの中の誰の実の父でもないことを明らかにされました。使徒の本当の地位は、アッラーの使徒であり、預言者たちの封緘（最後の預言者）であることです。

部族連合章 33:40

مَّا كَانَ مُحَمَّدٌ أَبَآ أَحَدٍ مِّن رِّجَالِكُمْ وَلَٰكِن رَّسُولَ ٱللَّهِ وَخَاتَمَ ٱلنَّبِيِّـۧنَ ۗ وَكَانَ ٱللَّهُ بِكُلِّ شَىْءٍ عَلِيمًا ﴿٤٠﴾

ムハンマドは，あなたがた男たちの誰の父親でもない。しかし，アッラーの使徒であり，また預言者たちの封緘である。本当にアッラーは全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/33:40

教訓

この節は、すべての関係をあるべき場所に置きます。ザイドはハーリサの息子であり、ムハンマド ﷺ はアッラーの使徒であり預言者たちの封緘です。ザイドへの愛は少しも減りませんでしたが、シャリーア（イスラーム法）は家系の真実を守るのです。

ウンム・アイマンとウサーマ

ザイドは、幼いころからアッラーの使徒 ﷺ の世話をしてきた*ウンム・アイマン*（バラカ）と結婚し、二人の間には息子*ウサーマ・ブン・ザイド*が生まれました。ウサーマもアッラーの使徒 ﷺ にとても愛され、「ヒッブ・イブン・ヒッブ」（愛された人の愛された息子）と呼ばれました。

アッラーの使徒 ﷺ が若いウサーマを司令官に任じられると、異を唱える人々がいました。使徒はこう言われました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3730 番

حَدَّثَنَا خَالِدُ بْنُ مَخْلَدٍ، حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ، قَالَ حَدَّثَنِي عَبْدُ اللَّهِ بْنُ دِينَارٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ بَعَثَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم بَعْثًا، وَأَمَّرَ عَلَيْهِمْ أُسَامَةَ بْنَ زَيْدٍ، فَطَعَنَ بَعْضُ النَّاسِ فِي إِمَارَتِهِ، فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " إِنْ تَطْعُنُوا فِي إِمَارَتِهِ فَقَدْ كُنْتُمْ تَطْعُنُونَ فِي إِمَارَةِ أَبِيهِ مِنْ قَبْلُ، وَايْمُ اللَّهِ، إِنْ كَانَ لَخَلِيقًا لِلإِمَارَةِ، وَإِنْ كَانَ لَمِنْ أَحَبِّ النَّاسِ إِلَىَّ، وَإِنَّ هَذَا لَمِنْ أَحَبِّ النَّاسِ إِلَىَّ بَعْدَهُ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルは言いました。預言者 ﷺ は軍を送り、ウサーマ・ブン・ザイドをその司令官に任じられた。ある人々が彼の指揮を批判すると、預言者 ﷺ は言われた。*「もしあなたがたが彼の指揮を批判するなら、以前には彼の父の指揮も批判していた。アッラーにかけて、彼（ザイド）は指揮にふさわしい人であり、私にとって最も愛しい人々の一人であった。そしてこの者（ウサーマ）は、彼の後、私にとって最も愛しい人々の一人である。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ハーリド・ブン・マフラド ← スライマーン・ブン・ビラール ← アブドゥッラー・ブン・ディーナール ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、ザイド・ブン・ハーリサの美徳の章、ハディース第 3730 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:3730

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は人々の前でザイドとウサーマの指揮を擁護されました。指導者としてふさわしいかどうかは、年齢や肌の色や出自ではなく、能力と信頼性によって決まるのです。

ムウタ：三人の司令官

ヒジュラ暦 8 年ジュマーダー・アル＝ウーラー月、アッラーの使徒 ﷺ の使者アル＝ハーリス・ブン・ウマイルが、ローマ（ビザンツ）の保護下にあるガッサーン族の首長に殺されました。アッラーの使徒 ﷺ は ***3000 人***の軍を北のシャームの地へ送り、初めて三人の司令官を順番に任じられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4261 番

أَخْبَرَنَا أَحْمَدُ بْنُ أَبِي بَكْرٍ، حَدَّثَنَا مُغِيرَةُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ سَعِيدٍ، عَنْ نَافِعٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ أَمَّرَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فِي غَزْوَةِ مُوتَةَ زَيْدَ بْنَ حَارِثَةَ، فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " إِنْ قُتِلَ زَيْدٌ فَجَعْفَرٌ، وَإِنْ قُتِلَ جَعْفَرٌ فَعَبْدُ اللَّهِ بْنُ رَوَاحَةَ ". قَالَ عَبْدُ اللَّهِ كُنْتُ فِيهِمْ فِي تِلْكَ الْغَزْوَةِ فَالْتَمَسْنَا جَعْفَرَ بْنَ أَبِي طَالِبٍ، فَوَجَدْنَاهُ فِي الْقَتْلَى، وَوَجَدْنَا مَا فِي جَسَدِهِ بِضْعًا وَتِسْعِينَ مِنْ طَعْنَةٍ وَرَمْيَةٍ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルは言いました。*アッラーの使徒 ﷺ はムウタの遠征でザイド・ブン・ハーリサを司令官に任じ、こう言われた。「もしザイドが殺されたらジャアファル、もしジャアファルが殺されたらアブドゥッラー・ブン・ラワーハである。」*

アブドゥッラー（・ブン・ウマル）は言いました。私はその戦いで彼らの中にいた。私たちはジャアファル・ブン・アビー・ターリブを捜し、殺された人々の中に彼を見つけた。その体には、突き傷と矢傷が九十余りあった。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・ブン・アビー・バクル ← ムギーラ・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラー・ブン・サイード ← ナーフィウ ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、シャームの地におけるムウタの遠征の章、ハディース第 4261 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*https://sunnah.com/bukhari:4261

歴史の注：兵士の海に立ち向かう 3000 人

ムスリム軍がマアーンに着くと、ヘラクレイオスがローマ人とアラブの同盟者を非常に大きな数で集めたという知らせが入りました（10万から20万とする伝承もあります）。彼らが協議すると、アブドゥッラー・ブン・ラワーハは「私たちは数や力や多さで戦うのではない。アッラーが私たちを高めてくださったこの宗教によって戦うのだ」と言って皆を奮い立たせ、こうして彼らはムウタへ進みました。

伝承の評価： スィーラの書に伝えられています。敵軍の数は伝承によって異なります。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）；ワーキディー『マガーズィー』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、解放奴隷であったザイドを、自分のいとこジャアファルよりも先に、最初の司令官とされました。これは、ザイドへの信頼がどれほど大きかったかを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

倒れた最初の旗手

ムウタでザイドはアッラーの使徒 ﷺ の旗を持って最前線で戦い、敵の槍に体を貫かれました。彼は 55 歳ごろで殉教しました。旗は次にジャアファルが、その次にアブドゥッラー・ブン・ラワーハが取りましたが、二人も殉教しました。マディーナでは、知らせが届く前に、アッラーの使徒 ﷺ がその出来事を人々に告げられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4262 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ وَاقِدٍ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنْ أَيُّوبَ، عَنْ حُمَيْدِ بْنِ هِلاَلٍ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم نَعَى زَيْدًا وَجَعْفَرًا وَابْنَ رَوَاحَةَ لِلنَّاسِ، قَبْلَ أَنْ يَأْتِيَهُمْ خَبَرُهُمْ فَقَالَ " أَخَذَ الرَّايَةَ زَيْدٌ فَأُصِيبَ، ثُمَّ أَخَذَ جَعْفَرٌ فَأُصِيبَ، ثُمَّ أَخَذَ ابْنُ رَوَاحَةَ فَأُصِيبَ ـ وَعَيْنَاهُ تَذْرِفَانِ ـ حَتَّى أَخَذَ الرَّايَةَ سَيْفٌ مِنْ سُيُوفِ اللَّهِ حَتَّى فَتَحَ اللَّهُ عَلَيْهِمْ ".

訳：

アナスの伝えるところでは、預言者 ﷺ はザイド、ジャアファル、イブン・ラワーハの死を、知らせが届く前に人々に告げられました。使徒は言われました。 ***「ザイドが旗を取り、そして倒れた。次にジャアファルが取り、そして倒れた。次にイブン・ラワーハが取り、そして倒れた。」 ――そのとき使徒の両目からは涙が流れていた――「ついにアッラーの剣の中の一振りの剣が旗を取り、アッラーは彼らに勝利を与えられた。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アフマド・ブン・ワーキド ← ハンマード・ブン・ザイド ← アイユーブ・アッ＝サフティヤーニー ← フマイド・ブン・ヒラール ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、シャームの地におけるムウタの遠征の章、ハディース第 4262 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4262

「アッラーの剣の中の一振りの剣」とはハーリド・ブン・アル＝ワリードのことで、彼はムスリム軍を救い、マディーナへ連れ帰りました（第3巻『ハーリド・ブン・アル＝ワリード』を参照）。アッラーは殉教者についてこう言われます。

イムラーン家章 3:169

وَلَا تَحْسَبَنَّ ٱلَّذِينَ قُتِلُوا۟ فِى سَبِيلِ ٱللَّهِ أَمْوَٰتًۢا ۚ بَلْ أَحْيَآءٌ عِندَ رَبِّهِمْ يُرْزَقُونَ ﴿١٦٩﴾

アッラーの道のために殺害された者を，死んだと思ってはならない。いや，かれらは主の御許で扶養されて，生きている。

訳：三田了一 — quran.com/3:169

歴史の注：アッラーの使徒ﷺの涙

アッラーの使徒 ﷺ は、ザイドの殉教後にその家族を訪ねられたと伝えられています。ザイドの娘が使徒の前で泣くと、使徒も声をあげて泣かれました。理由を問われると、「これは、愛する者が愛する者を慕う思いである」と言われました。

伝承の評価： 伝記とマガーズィーの書に伝えられていますが、伝承経路は強くありません。ザイドの殉教を告げるときにアッラーの使徒 ﷺ が涙を流されたことは真正です（『サヒーフ・ブハーリー』4262）。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；ワーキディー『マガーズィー』。

教訓

ザイドは奴隷として人生を始め、イスラームの旗の下で殉教した司令官としてそれを終えました。アッラーの使徒 ﷺ が彼のために流された涙は、愛する人への思いの深さを示しています。

ザイドの人柄

ザイドの物語は、誠実さと信仰と勇気をあわせ持った信仰者の姿を示しています。

特質	生涯からの例
忠誠	父よりもアッラーの使徒 ﷺ を選んだ（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815）
早い信仰	最初期の入信者の一人
献身	ターイフでアッラーの使徒 ﷺ に同行し、かばった
信頼性	バドルの勝利の知らせを届けた
指導力	多くの遠征隊の司令官；「指揮にふさわしい人」（『サヒーフ・ブハーリー』3730）
シャリーアへの従順	家系をハーリサに戻すことを受け入れた（部族連合章 33:5）
勇気	ムウタの最初の司令官（『サヒーフ・ブハーリー』4261）
愛された人	「私にとって最も愛しい人々の一人」（『サヒーフ・ブハーリー』3730）

教訓

ザイドは、人の価値は信仰と行いにあることを示しました。解放奴隷が、アッラーの使徒 ﷺ に愛された人となり、軍の司令官となり、クルアーンにその名を記されたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ザイドの物語の出典

この表は、読者が真正なものと単に有名なものを見分けられるよう、それぞれの話の出典と評価をまとめたものです。

物語	出典	評価
「ザイド・ブン・ムハンマド」と部族連合章 33:5	『サヒーフ・ブハーリー』4782；『サヒーフ・ムスリム』2425	真正
ザイドの訴え；部族連合章 33:37	『サヒーフ・ブハーリー』4787、7420	真正
「指揮にふさわしく、最も愛しい」	『サヒーフ・ブハーリー』3730	真正
ムウタの三人の司令官	『サヒーフ・ブハーリー』4261	真正
使徒 ﷺ が彼らの殉教を告げる	『サヒーフ・ブハーリー』4262	真正
使徒 ﷺ を選ぶ（ジャバラの伝承）	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815	ハサン
いつも司令官に任じられた	『ムスナド・アフマド』	ハサン
さらわれてウカーズで売られる	イブン・サアド；イブン・ハジャル	歴史
ヒジュルでの宣言	イブン・サアド；イブン・ハジャル	歴史
最初期の入信者の一人	イブン・イスハーク；イブン・カスィール	スィーラ
ターイフへの同行	イブン・サアド	スィーラ
ハムザとの兄弟の契り	イブン・サアド	スィーラ
バドルの知らせを運ぶ	イブン・イスハーク；ワーキディー	スィーラ
ザイドの家での涙	イブン・サアド；ワーキディー	弱い

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ザイドの物語の人物

人物	役割
ハーリサ・ブン・シュラフビール	身代金を持って迎えに来た父
ジャバラ・ブン・ハーリサ	兄弟、ザイドの選択の伝承者
ハキーム・ブン・ヒザーム	ウカーズの市で彼を買った
ハディージャ・ビント・フワイリド	彼をアッラーの使徒 ﷺ に贈った
ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ	イスラームの兄弟の契りを結んだ兄弟
ウンム・アイマン（バラカ）	妻、アッラーの使徒 ﷺ の乳母
ウサーマ・ブン・ザイド	息子、「愛された人の愛された息子」
ザイナブ・ビント・ジャフシュ	元の妻、のちの信者たちの母
ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ	ムウタの二人目の司令官
アブドゥッラー・ブン・ラワーハ	ムウタの三人目の司令官
ハーリド・ブン・アル＝ワリード	ムウタで軍を救った「アッラーの剣」
アブドゥッラー・ブン・ウマル	ザイドとムウタについてのハディースの伝承者

ザイドの物語の場所

場所	出来事
マアン家の集落（タイイ族）	幼いころにさらわれる
ウカーズの市	奴隷として売られる
マッカ	アッラーの使徒 ﷺ の家で育つ；入信
カアバのヒジュル	養子として宣言される
ターイフ	呼びかけに同行（預言者となって 10 年目）
マディーナ	ヒジュラ；ハムザとの兄弟の契り
バドル	勝利の知らせを運ぶ（ヒジュラ暦 2 年）
アル＝カラダ、アル＝ジャムーム、アル＝イース、ヒスマー、ワーディー・アル＝クラー	遠征隊を率いる
ムウタ（ヨルダン南部）	最初の司令官；殉教（ヒジュラ暦 8 年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ザイドの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前 47 年ごろ	カルブ族に生まれる
幼少期	さらわれてウカーズで売られ、ムハンマド ﷺ に贈られる
預言者となる前	父よりもアッラーの使徒 ﷺ を選ぶ；ザイド・ブン・ムハンマドと呼ばれる
預言者となった初期	最初期の入信者の一人となる
預言者となって 10 年目	アッラーの使徒 ﷺ とともにターイフへ
ヒジュラ暦 1 年	ヒジュラ；ハムザとの兄弟の契り
ヒジュラ暦 2 年	バドルの戦い；勝利の知らせを運ぶ
ヒジュラ暦 3〜6 年	いくつもの遠征隊を率いる
ヒジュラ暦 5 年	部族連合章 33:5 と 33:37 の啓示
ヒジュラ暦 8 年	ムウタの最初の司令官；55 歳ごろで殉教

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ザイドについてよくある質問

この章では、ザイド・ブン・ハーリサ رضي الله عنه についてよくある質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくはこれまでの章にあります。

1. ザイドの正式な名前は？

ザイド・ブン・ハーリサ・ブン・シュラフビール・アル＝カルビーで、クンヤはアブー・ウサーマです。

2. ザイドはどのようにして奴隷になったのですか？

幼いころにさらわれ、ウカーズの市で売られ、ハキーム・ブン・ヒザームがハディージャのために彼を買いました。

3. なぜザイドは父とともに帰らなかったのですか？

誰よりもアッラーの使徒 ﷺ を選んだからです（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815）。

4. なぜザイド・ブン・ムハンマドと呼ばれたのですか？

アッラーの使徒 ﷺ が彼を養子とされたからで、それは部族連合章 33:5 が下されるまで続きました（『サヒーフ・ブハーリー』4782）。

5. ザイドは本当にクルアーンに名前が記された唯一の教友ですか？

はい。その名は部族連合章 33:37 にはっきりと記されています。

6. ヒッブ・ラスーリッラーとはどういう意味ですか？

「アッラーの使徒 ﷺ に愛された人」という意味です。使徒がザイドを最も愛しい人々の一人と言われたからです（『サヒーフ・ブハーリー』3730）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

7. ザイドの妻は誰ですか？

ウンム・アイマン（ウサーマの母）やザイナブ・ビント・ジャフシュなどです。

8. ザイドの有名な息子は誰ですか？

アッラーの使徒 ﷺ がまだ若いうちに司令官に任じたウサーマ・ブン・ザイドです。

9. ムウタでのムスリムの数は？

約 3000 人で、はるかに大きなローマとその同盟軍に立ち向かいました。

10. ムウタの三人の司令官は誰ですか？

ザイド・ブン・ハーリサ、ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ、アブドゥッラー・ブン・ラワーハです（『サヒーフ・ブハーリー』4261）。

11. アッラーの使徒 ﷺ は彼らの殉教をどのように知られたのですか？

知らせが届く前に、涙を流しながら人々に告げられました（『サヒーフ・ブハーリー』4262）。

12. ザイドの物語の最大の教訓は？

信仰と敬虔さによる誉れ、アッラーの使徒 ﷺ への忠誠、そしてアッラーのシャリーアへの従順です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

ザイド・ブン・ハーリサ رضى الله عنه の物語は、さらわれて市場で売られた子どもに始まり、イスラームの旗の下で殉教し、その名をクルアーンに残した司令官で終わります。

教訓	ザイドの物語から
英知に満ちた定め	さらわれたが、アッラーの使徒 ﷺ の家にたどり着いた
忠誠	自由よりもアッラーの使徒 ﷺ を選んだ
敬虔さによる誉れ	解放奴隷が司令官となった
シャリーアへの従順	家系の定めを喜んで受け入れた
苦しいときにそばにいる	アッラーの使徒 ﷺ とともにターイフへ
勇気	ムウタの最初の司令官
アッラーの報い	その名はクルアーンに生き続ける

私たちの暮らしの中のザイド

ザイドの物語は、人を出自や肌の色や地位で判断してはならないことを教えています。また、忠誠に犠牲が伴うとしても、真理に忠実であることを教えています。

苦しみや喪失を経験した人にとって、ザイドは、アッラーが苦しみを誉れへの道とされることの証です。

『イスラームの英雄』シリーズは、イン・シャー・アッラー、ムウタの二人目の司令官ジャアファル・ブン・アビー・ターリブへと続きます。アッラーの使徒 ﷺ に愛されたザイド・ブン・ハーリサにアッラーのご満悦がありますように。そして使徒と教友たちとともに、私たちを楽園に集めてくださいますように。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。https://quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（イムラーン家章 3:169；部族連合章 33:5、33:37、33:40）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』3730、4261、4262、4782、4787、7420。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』2425。https://sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3815。https://sunnah.com/tirmidhi

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』。

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

ワーキディー『マガーズィー（遠征記）』。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（ザイド・ブン・ハーリサの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史（ターリーフ・アッ＝ルスル・ワ・アル＝ムルーク）』。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

ザハビー『高貴な人々の伝記（スィヤル・アアラーム・アン＝ヌバラー）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

Wikipedia「Zayd ibn Harithah」。https://en.wikipedia.org/wiki/Zayd_ibn_Haritha

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 6 巻：ムスアブ・ブン・ウマイルまで；とくに第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリード（ムウタ）。
https://quranscience.my/#pahlawan

『預言者伝（スィーラ）』第 5 巻（悲しみの年）と第 9 巻（バドルの戦い）。
https://quranscience.my/#sirah

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

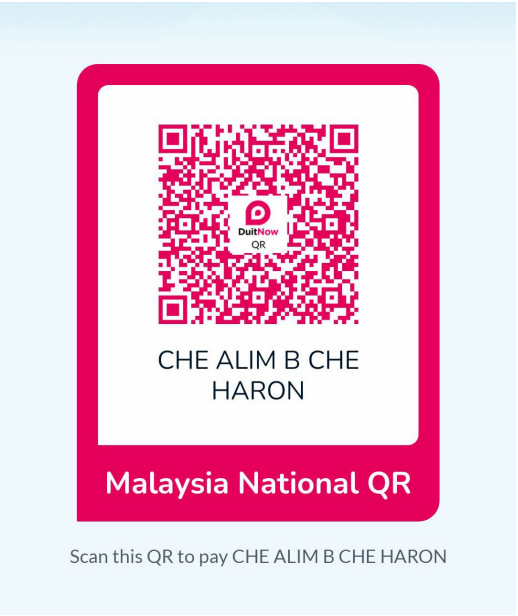
ル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience